

群馬県立尾瀬高等学校自然環境科



群馬県沼田市利根町平川1406

TEL 0278-56-2310 FAX 0278-56-3720

E-Mail oze-hs01@edu-g.gsn.ed.jp

尾瀬高校の目指すもの

尾瀬高校では、「**自然との共生**」を図ることのできる人づくりを目指しています。そのためには、知識を詰め込むだけの学習ではなく、豊かな自然の中で人間と自然との関わりについて考えることが必要です。様々な出会いを通して人と人とのつながりの大切さを学び、コミュニケーション能力・自己表現力を高め、実社会で通用する力を身に付けた人間を育成していきます。

志願して欲しい生徒像

- 郷土を愛し、地域社会の発展に貢献したい人
- 尾瀬高校の特色を理解し、高校生活に対し明確な目的意識を持った人
- 様々な体験学習を通して、豊かな教養を身に付け、自己表現力を高めたい人

尾瀬高校の特色

- 自分のペースで着実に学力を向上させることができます。少人数・習熟度別授業を通して、得意な教科の学力はさらに伸ばし、苦手な教科もじっくりと学習することができます。
- 教員一人あたりの生徒数は6人です。きめ細やかな支援体制が整っています。
- すべての生徒の能力を伸ばす、特色ある教育活動（体験学習、地域活性化プロジェクトなど）を行っています。

尾瀬ハートフルホーム・システム

自然環境科の特色ある教育（課外活動での環境に関する体験学習を含む）を受けたい人で、自宅からの通学が困難（公共の交通機関利用で約2時間以上）な人に対しては、ホームステイ制度（下宿生活）を用意しています。生活アドバイザー（生活指導員）等のサポートを受けて、30名前後がこの制度を利用しています。

定員32名：2年次より環境科学コース・自然環境コースのコース制（グラフは令和4年度入学生の履修内容）

コース	環境科学	自然環境
環境専門科目や普通科目をバランスよく学習し、大学進学など多様な進路に幅広く対応します。	自然と共生し社会で活躍するための実践力を身につけるため、体験的な学習や実践を行います。	
国語	9	9
地歴公民	6	6
数学	12	10
理科	11	13
外国語	17	9
情報科目	2	2
専門科目	10	16
環境		
必修科目	13	13
その他		
選択科目	4	6
探究的時間	3	3
総合的な学習の時間	3	3
※選択科目の内訳	科学セミナー 古典セミナー 音楽セミナー 理数数学セミナー	音楽Ⅱ 情報処理 音楽セミナー 英語探究 古典セミナー フードデザイン

独自の学校施設① 自然環境棟

新しい教育空間を目指した木造校舎。環境専門科目の授業はここで実施。



面積約6,000㎡。池の周囲には尾瀬と同じ仕様の木道も再現。希少な生物も棲息。



自然環境科の進路一覧（過去5年間）

卒業後もライフワークの一部として「自然とのふれあい」を啓発する活動を続け、自然環境(地域環境)の状態を多くの人に正確に伝えられる人になることを目指し、国公立大や私立大、専門学校に進学、就職するなど様々な道へ進みます。

国公立大学	私立大学	専門学校	就職
九州大学共創学部 群馬大学共同教育学部数学専攻 岩手大学農学部森林科学科 山形大学農学部 福島大学食農学類 鹿児島大学水産学部水産学科 群馬県立女子大学国際コミュニケーション学科 群馬県立女子大学文学部国文学科 前橋工科大学工学部生物工学科 長野大学環境ソーリズム学部(3名)	明治大学農学部農学科 立命館大学産業社会学部産業社会学科 日本大学文理学部 東京農業大学地域環境科学部(3名) 東京農業大学生物産業学部(2名) 東京農業大学国際食料情報学部 東京家政大学家政学部 桜美林大学リベラルアーツ学群 高崎健康福祉大学人間発達学部 新潟医療福祉大学医療技術学部 など	国際自然環境アトリア専門学校 日本工学院八王子専門学校 新潟日建工科専門学校 群馬パース大学福祉専門学校 中央情報大学校 中央農業大学校 大原スポーツ公務員専門学校 群馬法科ビジネス専門学校 高崎産業技術専門学校 群馬県立農林大学校 など	自衛隊 陸上自衛隊一般曹候補生(株)オリエント 関東パック(株)沼田工場(株)テクノアウター(株)原田農園 ハルナプロデュース(株)ペラヴィータ(株)ベルジ(株)ベルジ武尊(株)目崎鉄工 など

自然環境科における環境教育

～自然との共生を図ることのできる人づくり～

<尾瀬高校の環境教育の目的・目標>

多様で複雑な環境問題を理解し、解決に向けて行動するためには、問題を全体的に捉える必要があり、環境に関する知識の習得に加え、感性や倫理観、多面的に物事を考え自ら課題を見つける能力、問題を多角的に分析する能力、様々な主体間の調整を行うために互いにコミュニケーションを図る能力などを育成していくことが必要です。このため、「体験を通じて、自ら考え、調べ、学び、行動する」という過程を重視した学習を推進します。
(環境基本計画2000年より抜粋)

1. 基本理念(人づくりの目指すもの)

自然環境科では、多様な自然の中での自然観察や環境調査を通して、様々な課題を発見し解決する能力を身につけます。また、自然観察やキャンプなどの自然体験活動の実践を通して、豊かな感受性を磨くと共に、「自然とのふれあい」を啓発するためのコミュニケーション能力を高めます。

そして卒業後も、ライフワークの一部として「自然とのふれあい」を啓発する活動を続けて、自然環境(地球環境)の状態をできるだけ多くの人に正確に伝えられる人になることを目指します。

2. 独自の環境教育プログラム

(1) 重点項目

- ①多様な自然や人に接し、興味を持ち、課題を発見する。
- ②多様な自然や人の価値観に接し、多面性を理解する。
- ③自分の考えを持つ。状況に合わせた判断をする。討論する。
- ④自分の考えや自然からのメッセージをわかりやすく人に伝える。自己表現力や発表能力を高める。
(インタープリテーション能力、プレゼンテーション能力を高める。)

(2) 環境専門科目(学校設定科目)とその概要

	科目名(単位数)	概要
1 学年	総合尾瀬Ⅰ(2)	様々な自然や施設での校外実習を通して、尾瀬の自然を理解する。 (多様な自然を知ることから、尾瀬の特色を理解する。)
	環境実践Ⅰ(2)	野外実習で必要とされる基本的な技術を身につける。 (コンパスワーク、安全対策、観察・記録技術を中心とする。)
2 学年	環境測定(2)	自然環境調査・研究の計画を立て、その結果を分析する。
	環境実践Ⅱ(1)	植生や水質、野鳥など自然環境の調査技術を身につける。
	総合尾瀬Ⅱ(選択2)	調査結果を表計算ソフト、GISなどを用いて整理し、その情報を広く発信する。
3 学年	野外の活動(3)	自然体験の啓発活動としての自然観察会などを計画・実施する。
	環境実践Ⅲ(選択2)	生物の飼育・栽培、自然植物園の維持・管理を行う。
	環境の保全(選択2)	環境問題を科学的・社会的な側面から探究する。

「理数探究」を2年次に2単位履修し、自然環境に関わる課題を設定し、調査や研究活動を行います。

「総合的な探究の時間」を3年次に2単位履修し、2年次の「理数探究」と連動した授業を行います。

(3) 各学年における校外実習の概要

第1学年	第2学年	第3学年
県内各地の多様な環境・施設において 複数の講師から観察指導・見学指導	グループでの調査活動と環境測定 (水質・植物・哺乳類・鳥類・雪等)	インタープリテーション(自然解説)と 環境ボランティア、自然体験活動
【4月】吹割の滝 【5月】武尊山(春) 【6月】尾瀬ヶ原 【7月】ぐんま昆虫の森 【9月】尾瀬沼 【10月】武尊山(秋)・ シラネアオイ播種 【11月】自然史博物館 【12月】ぐんま天文台・ オリエンテーリング(北毛青少年自然の家)	【4月】吹割の滝(主に野鳥) 【5月】武尊山(動植物全般) 【6月】日光白根山 (シラネアオイ移植) 【7月】尾瀬ヶ原(水質)、 至仏山(東面登山道調査) 【9月】尾瀬アヤマ平(植生) 【10月】武尊山(動植物全般) 【11月】吹割の滝・ 片品村鎌田(主に野鳥) 【12月】大気測定(NOx) 【1月】玉原高原(雪上調査)	【4月】インタープリテーション研修 吹割の滝自然観察会(高1対象) 【6月】尾瀬ヶ原自然観察会(高1対象) 【7月】環境学習支援(小6対象) 【8月】キャンプ体験(幕営、ナトハク、野外炊飯) 【9月】日光白根山(シラネアオイ採種) 武尊山自然観察会(中2対象) 【10月】尾瀬ヶ原植生保護柵撤去活動 尾瀬大清水湿原ミズバショウ移植活動 【11月】自然体験プログラム(中1対象) 【12月】野鳥観察会(高2対象) 【1月】玉原高原雪上自然観察会(外部講師対象)

3. 校外と連携した学習活動

環境省関東地方環境事務所(H31に連携協定)、利根沼田自然を愛する会、シラネアオイを守る会、奥利根自然センター、ミズバショウプロジェクト(地元企業等)、群馬県(環境森林部自然環境課)、片品村、沼田市、道の駅尾瀬かたしな(片品村振興公社)、尾瀬保護財団、日本野鳥の会群馬、武尊牧場キャンプ場、連携中学校(沼田市立利根中学校、片品村立片品中学校)、県内外小学校(沼田市立利根小学校、横浜市立さつきが丘小学校)、東京パワーテクノロジー(株)尾瀬林業事業所、丸沼高原スキー場など

4. 授業や課外活動の表彰実績・成果など

第24回日本水大賞「環境大臣賞」、第14回群馬銀行環境財団教育賞「特別賞」、第7回全国ユース環境活動発表大会「環境再生保全機構理事長賞」、第69回群馬県理科研究発表会 高校生物の部「最優秀賞」、高校化学の部「最優秀賞」、とうきょう絵文2022(第46回全国高等学校総合文化祭)自然科学部門 生物・化学の2部門 出場、第24回全国高校生自然環境サミットin尾瀬 ホスト校、日本水産学会高校生ポスター発表 令和4年度春季大会「最優秀賞」、同秋季大会「優秀賞」2022年度初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰、日本森林学会「第8回高校生ポスター発表」優秀賞 など